

第1回学校の在り方地域懇談会（八街南中学校区）

次 第

日 時 令和7年8月7日(木)

午後2時00分

場 所 八街南中学校会議室

1 開 会

2 教育長挨拶

3 自己紹介

4 議 題

(1) 小中学校の現状と課題について

(2) 児童生徒数の推計について

(3) 県内市町村の取組事例について

(4) その他

5 閉 会

「学校の在り方地域懇談会」資料（各小中学校の現状と課題）

【八街市立 笹引小学校】

※児童・生徒が最も多かった時期と現在とを比較して記入してください。	教育活動の変化や留意事項	
	最も多かった時期（平成8年度） 児童数：330人 教員数：15人	現在（令和7年度） 児童数：90人 教員数：12人
学校の雰囲気・人間関係	<p>児童生徒数の多寡により、学校全体や学級内の活気、人と人との関わり方、異学年交流、教職員と児童生徒の関係性など</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が最も多かった時期は、各学年2クラス(1クラス35名程度)でプレハブ校舎が3棟あり、学校全体として活気があったと思われる。 現在は児童数の減少に伴い、どの学年も1クラスとなり、最も児童数が少ない学年は9名である。最も多い学年でも18名と少なく、クラス替えがないため人間関係が固定化してしまっている。 社会性や思いやり、リーダーシップ、責任感を育てるため、異学年交流を積極的に取り組んでいる。 	
授業や学習活動 ・学校行事	<p>授業の進め方や学習形態の変化、少人数指導やICTの活用状況、学校行事の規模や内容、運営方法など</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員数の減少に伴い、少人数指導を行うことができていない。代わりに、児童一人一台端末の配付により、一人一人が苦手な部分を把握し、自分自身で課題を設定して練習問題に取り組むなどICTの活用が日常化している。 集会活動では、ICT機器を活用したリモートでの開催や、運動会の半日開催、PTAバザーでの飲食の提供を廃止するなど、学校行事については年々縮小傾向である。 児童数減少に伴い、校外学習や卒業アルバムなど、1家庭当たりの負担額が増えている。 	
教職員体制・学校運営	<p>教職員の人数や配置、年齢構成、兼務の実態、校務分掌の在り方、管理職や主任の負担感、外部支援者の活用状況など</p> <ul style="list-style-type: none"> かつては、40、50代の教職員が多く配置されていて学級担任を行っていたが、現在は2名のみでベテランが少ない。学級担任の年齢構成は、定年後の再任用教員2名、30代2名、20代2名となっていて、中堅層が少なくなっている。 教職員数の減少に伴い、一人一人の校務分掌の業務量が増えている。校務分掌の仕事については児童下校後の放課後に行なうことが多く、勤務時間内に終わらず残業する教職員も多い。 昨年度は、教務主任が学級担任を兼務していたが、今年度は担任を外れ学校全体の業務を行うことができている。 	

「学校の在り方地域懇談会」資料（各小中学校の現状と課題）

【八街市立 笹引小学校】

※児童・生徒が最も多かった時期と現在とを比較して記入してください。	教育活動の変化や留意事項	
	最も多かった時期（平成8年度） 児童数：330人 教員数：15人	現在（令和7年度） 児童数：90人 教員数：12人
施設の維持管理 ・空間の使い方		施設の維持管理、空き教室や特別教室の利用方法、共有スペースの活用、防災・安全面への対応など ・全体的に校舎の老朽化が進んでいる。特に、体育館では雨漏りがあり、教育総務課に修理申請をしている。 ・児童数減少に伴い、空き教室は2部屋。1部屋は、パソコン室として利用していたところを多目的室として使用している。もう1部屋は、特別支援学級として使用していたが、学級減に伴い、現在は特別支援学級の多目的室として使用している。 ・過去に使用していたプレハブ校舎（1棟）が現在も残っている。現在は、用具庫として使用しているが、老朽化が進んでいる印象を受ける。
保護者や地域との関わり ・子どもを取り巻く環境		PTA活動や地域ボランティアの関わり、登下校の安全体制、放課後の過ごし方、地域行事や外部関係団体との連携状況など ・コロナや教職員の働き方改革により、保護者や地域とともに進める活動は縮小傾向にある。 ・PTAによるバザーは、以前は出店をたくさん出し地域も参加していたが、現在は校内のみで行いゲームや物品販売が中心である。 ・資源回収については年3回行っている。以前は、地域からも段ボールなどの資源物を積極的に集めていたが、現在は学校のものが中心となっている。 ・地域ボランティアの方々の高齢化に伴い、登下校時の見守りをしてくれる人が減ってきてている。
部活動・クラブ活動		活動の種類や実施状況、児童生徒の参加人数、教職員の指導体制、他校との合同実施や地域クラブとの連携など ・陸上部→コロナ以降、朝練習や放課後練習は行っていない。陸上練習は体育の授業を活用し、5・6年合同で全員参加で実施している。練習に参加している全員が、選手として大会に出場している。児童数減少に伴い、出場枠すべてにエンターすることができていない。 ・音楽部→陸上部同様、音楽の授業を活用し、5・6年合同で全員参加で実施している。 ・クラブ活動→児童数、教職員数の減少により、実施していない。

「学校の在り方地域懇談会」資料（各小中学校の現状と課題）

【八街市立二州小学校】

※児童・生徒が最も多かった時期と現在とを比較して記入してください。		教育活動の変化や留意事項	
		最も多かった時期（平成6年度） 児童数：403人 教員数：20人	現在（令和7年度） 児童数：102人 教員数：17人
学校の雰囲気・人間関係		<p>児童生徒数の多寡により、学校全体や学級内の活気、人と人との関わり方、異学年交流、教職員と児童生徒の関係性など</p> <p>学校の雰囲気は、非常に穏やかで、すべての教職員が児童に関わることができ、温かい雰囲気の学校であるが、最も多かった時期と比較すると児童数は4分の1となり、活気は少なくなったと思われる。現在、各学年在籍児童は10～20人の単学級でクラス替えはないため、学級の人間関係や環境は大きく変わることがない。</p> <p>沖分校児童が本校にスクールバスで登校し学ぶ「合同学習日」を年間40日程度実施している。学習用具や上履き等を本校に持っていくなど少なからず負担がある。分校児童は5年生進級と同時に本校に通学することになるが、スムーズに移行できるように配慮している。（令和3年度までは自転車通学）</p>	
授業や学習活動・学校行事		<p>授業の進め方や学習形態の変化、少人数指導やICTの活用状況、学校行事の規模や内容、運営方法など</p> <p>授業については、児童数は減少しているが、一人一台タブレット端末や電子黒板などのICTを活用して、学習指導要領に従い時代の求める教育活動を行っている。分校児童は、現在2年生4名、3年生2名の計6名である。個別に手厚い指導ができるメリットもあるが、授業中の意見交換や考えの広がりという点では限界がありなかなか難しい。</p> <p>学校行事は、働き方改革の推進や児童数の減少から、運動会の半日開催、バザーの廃止など縮小傾向のものもあるが、児童のことを第一に考え実施している。</p> <p>今後は、南中学校区として、小小や小中の連携をして学校行事を進めることも考える必要がある。</p>	
教職員体制・学校運営		<p>教職員の人数や配置、年齢構成、兼務の実態、校務分掌の在り方、管理職や主任の負担感、外部支援者の活用状況など</p> <p>児童数は減少しているが、本校に校長・教頭、沖分校に副校長の配置がある・養護教諭も本校と分校に1名ずつ配置されている。学級は本来複式であるが、増置の教員を活用して学級を開いているため、比較的恵まれた教職員体制にある。</p> <p>しかしながら、最も多かった時期は、本校と分校合わせて3学級あった学年もあり、比較するとベテラン・中堅・若手のバランスのとれた教職員体制であった。現在は職員数の減少により、校務分掌が一人に複数割り当てられたり、夏季休業中の日直の輪番が多いなど小規模校ならではの負担は増えた。</p>	

「学校の在り方地域懇談会」資料（各小中学校の現状と課題）

【八街市立二州小学校】

※児童・生徒が最も多かった時期と現在とを比較して記入してください。	教育活動の変化や留意事項	
	最も多かった時期（平成6年度） 児童数：403人 教員数：20人	現在（令和7年度） 児童数：102人 教員数：17人
施設の維持管理 ・空間の使い方	<p>施設の維持管理、空き教室や特別教室の利用方法、共有スペースの活用、防災・安全面への対応など</p> <p>教室については、最も多かった時期は、本校に学年各2学級あったが、現在は1学級に減少した。空き教室は、1階の2教室が学童ルームとして活用されている。2階の6年生教室は、2部屋のしきりを取り払い2教室分の広さを使っている。清掃は、児童が理科室や図工室などの特別教室を一人で行うような状況である。</p> <p>校庭や学校周りの草木の管理は、教育後援会等の地域の協力も得ているが、基本的に少ない職員で広い敷地を管理することは、本校分校共に負担となっている。</p>	
保護者や地域との関わり ・子どもを取り巻く環境	<p>PTA活動や地域ボランティアの関わり、登下校の安全体制、放課後の過ごし方、地域行事や外部関係団体との連携状況など</p> <p>ありがたいことに、PTA活動や地域ボランティアの関わりは、児童数は減少しているものの比較的積極的に実施されている。資源回収や奉仕作業、PTAバレー大会やソフトボール大会への参加もしている。またサツマイモや落花生の畑の提供やスイカの試食会の開催など地域の方々の協力も多い。</p> <p>地域の方の高齢化を感じる。本年度から始まった学校運営協議会制度を活用していくが、10年後には、現在のような協力体制が望めるとは限らないと感じている。</p>	
部活動・クラブ活動	<p>活動の種類や実施状況、児童生徒の参加人数、教職員の指導体制、他校との合同実施や地域クラブとの連携など</p> <p>部活動については、スクールバスでの登下校の関係から、5・6年生の陸上大会や音楽発表会の朝練習は実施しなくなった。月・木の放課後に、職員全員で指導しているが、陸上競技の全部の種目を十分に指導できる職員の人数確保は難しくなった。今後、児童数の減少から音楽発表会は、5・6年生に加えて4年生の参加を検討している。</p> <p>クラブ活動については、児童数だけでなく、指導者の数も関係することから実施できるクラブ数が少なくなり、今後存続について検討を進める。</p>	

「学校の在り方地域懇談会」資料（各小中学校の現状と課題）

【八街市立川上小学校】

※児童・生徒が最も多かった時期と現在とを比較して記入してください。	教育活動の変化や留意事項	
	最も多かった時期（平成10年度） 児童数：770人 教員数：31人	現在（令和7年度） 児童数：124人 教員数：14人
学校の雰囲気・人間関係	<p>児童生徒数の多寡により、学校全体や学級内の活気、人と人との関わり方、異学年交流、教職員と児童生徒の関係性など</p> <p>児童が最も多かった時期と直接の比較ができないが、児童数・教職員数が激減し、全体的な活気は昔と比べ少なくなつたと思われる。かつては南校舎にも普通教室があり子どもたちの声が響いていたが現在は南校舎は一部の活動で使用する多くの時間は閑散としている。</p> <p>児童数の減少に伴い、全学年が1クラスになり、人間関係の狭さや固定化が指摘されている。人間関係のこじれがあつてもクラス替えや中学校進学に伴い、リセットする機会がないことも保護者から心配な意見として寄せられた。</p>	
授業や学習活動 ・学校行事	<p>授業の進め方や学習形態の変化、少人数指導やICTの活用状況、学校行事の規模や内容、運営方法など</p> <p>児童数の減少にコロナや働き方改革の流れを受け、行事は年々縮小の傾向である。かつては運動会のチーム分けも4色で行っていた形跡が残っている。かつて行っていた地区別リレー、マーチングパレードなども削減され、練習に割く時間も大幅に削減された。</p> <p>職員数の減少に伴い、かつて算数科などで盛んに行っていたT・Tや少人数指導の形態は今は行えなくなった。代わりにICT機器の活用が進み、一人一台端末を活用した授業スタイルが浸透してきた。</p> <p>その他校外学習や卒業アルバム代など、児童数減少に伴い、1家庭当たりの負担額が増加している。</p>	
教職員体制・学校運営	<p>教職員の人数や配置、年齢構成、兼務の実態、校務分掌の在り方、管理職や主任の負担感、外部支援者の活用状況など</p> <p>かつてはベテランが多く、若手が少ない構成だったが、現在は若手が中心で、ベテラン層が少ない。教務主任は担任を外れ、学校全体の業務を行っていたが、ここ数年は学級担任兼務が当たり前になっている。職員数の減少に伴い、業務量の多い校務分掌が複数割り当てられることも多く、一人が担う業務量が必然的に増えている。こうしたことから担任の負担が増え、それらをフォロー・指導すべきベテラン層がいないことから、それらを管理職が担う場面が多い。</p>	

「学校の在り方地域懇談会」資料（各小中学校の現状と課題）

【八街市立川上小学校】

※児童・生徒が最も多かった時期と現在とを比較して記入してください。	教育活動の変化や留意事項	
	最も多かった時期（平成10年度） 児童数：770人 教員数：31人	現在（令和7年度） 児童数：124人 教員数：14人
施設の維持管理 ・空間の使い方	<p>施設の維持管理、空き教室や特別教室の利用方法、共有スペースの活用、防災・安全面への対応など</p> <p>前述のとおり南校舎はほぼすべての教室が実質使われておらず、社会科資料室やPTA会議室といった名称で資料保管場所として活用されている。かつてのコンピュータ教室は一人一台端末の普及により第2図書室となった。</p> <p>建物は児童数の減少に伴い使用頻度が低下し、老朽化が進んでいる印象を受ける。雨漏りや水漏れ、電気関係の不具合で連日教育総務課と連絡を取り合っている。</p>	
保護者や地域との関わり ・子どもを取り巻く環境	<p>PTA活動や地域ボランティアの関わり、登下校の安全体制、放課後の過ごし方、地域行事や外部関係団体との連携状況など</p> <p>教育後援会やPTAによるバザー、資源回収、歓送迎会などかつては保護者や地域とともに進める活動が多かったが、コロナや働き方改革の流れもあり、現在はかつての活動はほとんど残っていない。一方で家庭数の減少により役員になる確率の増加、一人当たりの担う仕事が多いという指摘も受けている。</p> <p>業務に係る3分類を受け、登下校に係る内容については教職員の業務から切り離し、PTAによる月初めの交通指導や見守り隊による登校時の見守りをお願いしている状況である。また児童数が減り、近所の子がいない状態で無理やり登校班を組んだり、一人で登下校したり保護者の送迎を余儀なくされるケースも増えている。</p>	
部活動・クラブ活動	<p>活動の種類や実施状況、児童生徒の参加人数、教職員の指導体制、他校との合同実施や地域クラブとの連携など</p> <p>吹奏楽部…指導者や楽器不足により廃止された。</p> <p>陸上部…コロナ以降、朝練習や放課後練習を廃止し、体育の時間を活用して5, 6年全員参加。本人の意思に關係なく、強制的に全員が参加し、選手を努めなければならない状況となっている。</p> <p>クラブ活動…子どもたちの興味関心や職員の専門性に合わせて幅広い種類を展開していたが、児童数・職員数の減少によりクラブ数を減らして展開している。</p>	

「学校の在り方地域懇談会」資料（各小中学校の現状と課題）

【八街市立八街南中学校】

※児童・生徒が最も多かった時期と現在とを比較して記入してください。	教育活動の変化や留意事項	
	最も多かった時期（平成10年度） 生徒数：731人 教員数：33人	現在（令和7年度） 生徒数：206人 教員数：18人
学校の雰囲気・人間関係	<p>児童生徒数の多寡により、学校全体や学級内の活気、人と人との関わり方、異学年交流、教職員と児童生徒の関係性など</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒、職員数が減少傾向にはあるが、教職員と生徒との関係性については、以前と変わらず良好である。 生徒間同志の関わりについては、生徒数の減少に伴いたくさんの仲間と触れ合う機会が少ない。そのため、人間関係の構築については、様々な経験ができない状況下にある。人間関係の固定化が見られ、環境を変えたり、一度崩れた人間関係を元に戻すことがなかなか難しい状況にある。学級数が少ないため別々のクラスに分けるなどの配慮が物理的にも難しい。 異学年交流は、行事や部活動、生徒会活動等で以前と変わらずに行っている。 各学年4学級以上の学校は、様々な学校行事において生徒の活気も生まれやすい。 	
授業や学習活動 ・学校行事	<p>授業の進め方や学習形態の変化、少人数指導やICTの活用状況、学校行事の規模や内容、運営方法など</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTの活用状況については、どの授業においても電子黒板やタブレット端末を活用して授業を行っている。 少人数指導や授業形態を工夫して授業を進めている。 体育祭は2色、合唱祭は各学年2学級で高め合う（競う）形をとっている。学校行事の見直しや精選は常に進めており、持続可能な取り組みを踏まえ検討している（今後6年間は各学年2クラスで教育活動を行っていくと思われる）。 	
教職員体制・学校運営	<p>教職員の人数や配置、年齢構成、兼務の実態、校務分掌の在り方、管理職や主任の負担感、外部支援者の活用状況など</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員の定数は確保されている。本校は小規模校のため、免許外申請の手続きを行い専門外の教員が教科指導を行っている教科が一部ある。 教職員の年齢層は40代～60代以上が全体の約68%を占めている。 学年主任と学級担任、生徒指導主事と学級担任の兼務等が当たり前となっている。校務分掌においても、複数の業務を担当している。 教頭の業務は年々増えているように思う。 地域ボランティアについては小学校に比べると活用できていないように思われる。 	

「学校の在り方地域懇談会」資料（各小中学校の現状と課題）

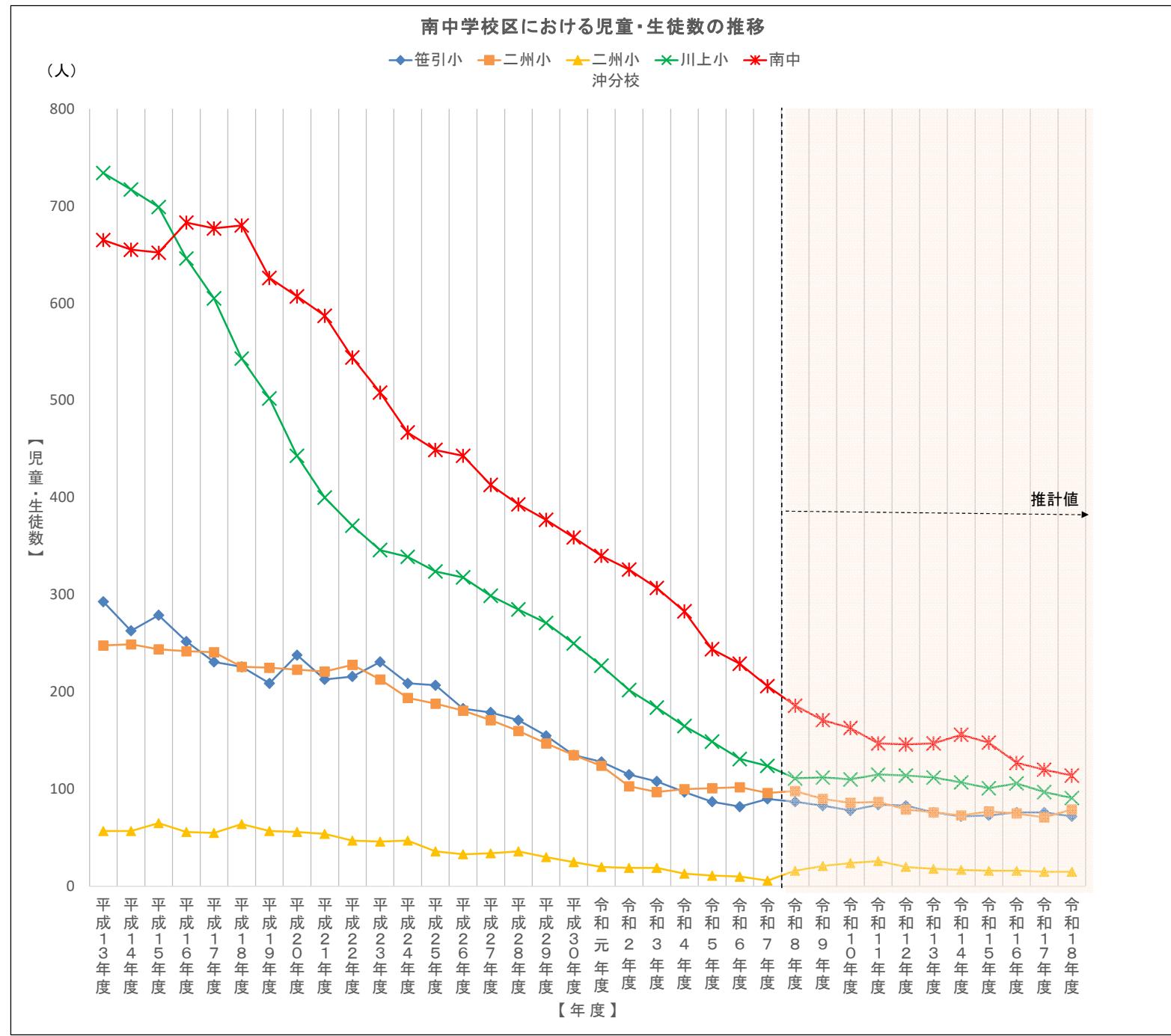
【八街市立八街南中学校】

※児童・生徒が最も多かった時期と現在とを比較して記入してください。	教育活動の変化や留意事項	
	最も多かった時期（平成10年度） 生徒数：731人 教員数：33人	現在（令和7年度） 生徒数：206人 教員数：18人
施設の維持管理 ・空間の使い方	<p>施設の維持管理、空き教室や特別教室の利用方法、共有スペースの活用、防災・安全面への対応など</p> <p>・創立39年目を迎える校舎については、老朽化が進んでいる。特にプレハブ校舎は現在使用していないため撤去をお願いしたい。</p> <p>・生徒の減少に伴い、グラウンドを使う頻度や面積が以前に比べ少くなり草が生い茂り、維持管理にかなりの労力を注いでいる(除草作業)。</p> <p>・空き教室は更衣室、少人数指導教室、日本語指導教室として活用している。</p> <p>・老朽化に伴い教室の鍵が壊れている。</p>	
保護者や地域との関わり ・子どもを取り巻く環境	<p>PTA活動や地域ボランティアの関わり、登下校の安全体制、放課後の過ごし方、地域行事や外部関係団体との連携状況など</p> <p>・PTA活動については、縮小傾向にある(保護者の負担軽減を踏まえて)。</p> <p>・登下校の安全対策については、学期に一回以上、提示した危険個所に立ちPTAの方に見守り活動を依頼している。</p> <p>・PTAの奉仕作業は、年間2回実施している。生徒数の減少により、2時間程度の作業時間では十分な環境整備ができない現状がある。</p> <p>・地域の夏祭り等は感染症の影響により、見回り活動等が停止している状態。</p>	
部活動・クラブ活動	<p>活動の種類や実施状況、児童生徒の参加人数、教職員の指導体制、他校との合同実施や地域クラブとの連携など</p> <p>・部活動については、運動系8部(野球、陸上競技、女テニス、男女バスケ、女バレー、男女バド、剣道)、文化系2部(吹奏楽、美術)である(野球、陸上競技、剣道が部活動地域展開に移行)。</p> <p>・生徒数の減少に伴い、配置される職員も少ない(令和4年度以降サッカー、男バレーMVSが廃部)。今後、女テニス(2年生2名)、剣道部(2年生1名、1年生1名)については少人数で活動しているため、部活動の存続については検討中である。</p> <p>・市内は、令和13年度を目処にすべての部活動において部活動地域展開とする予定で進めている。</p>	

(単位:人)

南中学校区における児童・生徒数の推移

学校年度	笛引小	二州小	二州小 沖分校	川上小	南中
平成13年度	293	248	57	734	665
平成14年度	263	249	57	717	655
平成15年度	279	244	65	699	652
平成16年度	252	242	56	646	683
平成17年度	231	241	55	605	677
平成18年度	226	226	64	543	680
平成19年度	209	225	57	502	626
平成20年度	238	223	56	443	607
平成21年度	213	221	54	400	587
平成22年度	216	228	47	371	544
平成23年度	231	213	46	346	508
平成24年度	209	194	47	339	467
平成25年度	207	188	36	324	449
平成26年度	183	181	33	318	443
平成27年度	179	171	34	299	413
平成28年度	171	160	36	285	393
平成29年度	155	147	30	271	377
平成30年度	135	135	25	250	359
令和元年度	128	124	20	227	340
令和2年度	115	103	19	202	326
令和3年度	108	97	19	184	307
令和4年度	97	100	13	165	283
令和5年度	87	101	11	149	244
令和6年度	82	102	10	131	229
令和7年度	90	96	6	124	206
令和8年度	87	98	16	111	186
令和9年度	83	90	21	112	171
令和10年度	78	86	24	110	163
令和11年度	84	87	26	115	147
令和12年度	83	79	20	114	146
令和13年度	76	76	18	112	147
令和14年度	72	73	17	107	156
令和15年度	73	77	16	101	148
令和16年度	76	75	16	106	127
令和17年度	76	71	15	97	120
令和18年度	72	79	15	91	114



学級編制推移一覧

八街南中学校

(各年5月1日現在)

学年 年度	1年		2年		3年		合計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
平成13年度	6	221	6	218	6	226	18	665
平成14年度	6	215	6	216	6	224	18	655
平成15年度	6	218	6	219	6	215	18	652
平成16年度	7	252	6	211	6	220	19	683
平成17年度	6	212	7	254	6	211	19	677
平成18年度	6	216	6	210	7	254	19	680
平成19年度	6	202	6	216	6	208	18	626
平成20年度	5	186	6	204	6	217	17	607
平成21年度	6	197	5	187	6	203	17	587
平成22年度	5	160	6	197	5	187	16	544
平成23年度	5	154	5	160	6	194	16	508
平成24年度	5	155	4	151	5	161	14	467
平成25年度	5	143	5	155	4	151	14	449
平成26年度	5	144	4	143	5	156	14	443
平成27年度	4	128	4	144	4	141	12	413
平成28年度	4	118	4	130	4	145	12	393
平成29年度	4	125	4	120	4	132	12	377
平成30年度	4	113	4	125	4	121	12	359
令和1年度	3	100	4	114	4	126	11	340
令和2年度	3	113	3	100	4	113	10	326
令和3年度	3	92	3	112	3	103	9	307
令和4年度	3	83	3	90	3	110	9	283
令和5年度	2	73	3	82	3	89	8	244
令和6年度	2	69	2	76	3	84	7	229
令和7年度	2	59	2	70	2	77	6	206
令和8年度	2	55	2	61	2	70	6	186
令和9年度	2	55	2	55	2	61	6	171
令和10年度	2	52	2	55	2	56	6	163
令和11年度	1	40	2	52	2	55	5	147
令和12年度	2	53	1	40	2	53	5	146
令和13年度	2	54	2	53	1	40	5	147
令和14年度	2	51	2	54	2	51	6	156
令和15年度	2	42	2	51	2	55	6	148
令和16年度	1	34	2	42	2	51	5	127
令和17年度	2	44	1	34	2	42	5	120
令和18年度	1	36	2	44	1	34	4	114

※学級数は普通級数を生徒数は総生徒数を表示している。

学級編制推移一覧

笛引小学校

(各年5月1日現在)

学年 年度	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計	
	学級 級 数	児童 童 数												
平成13年度	2	43	2	51	2	48	2	65	2	41	2	45	12	293
平成14年度	1	27	2	42	2	47	2	47	2	61	2	39	11	263
平成15年度	2	54	1	27	2	39	2	50	2	48	2	61	11	279
平成16年度	1	33	2	56	1	28	2	40	2	47	2	48	10	252
平成17年度	1	28	1	34	2	57	1	26	2	41	2	45	9	231
平成18年度	2	42	1	26	1	35	2	56	1	26	2	41	9	226
平成19年度	1	27	2	41	1	25	1	37	2	54	1	25	8	209
平成20年度	2	50	1	27	2	42	1	27	1	37	2	55	9	238
平成21年度	1	30	2	51	1	26	2	43	1	26	1	37	8	213
平成22年度	1	32	1	29	2	52	1	29	2	46	1	28	8	216
平成23年度	2	38	1	33	1	31	2	52	1	30	2	47	9	231
平成24年度	1	29	1	37	1	32	1	29	2	54	1	28	7	209
平成25年度	1	27	1	28	1	37	1	33	1	28	2	54	7	207
平成26年度	1	30	1	26	1	28	1	36	1	35	1	28	6	183
平成27年度	1	27	1	30	1	25	1	28	1	36	1	33	6	179
平成28年度	1	22	1	26	1	30	1	26	1	30	1	37	6	171
平成29年度	1	20	1	22	1	25	1	32	1	25	1	31	6	155
平成30年度	1	13	1	20	1	23	1	24	1	32	1	23	6	135
令和1年度	1	12	1	15	1	20	1	24	1	25	1	32	6	128
令和2年度	1	17	1	14	1	15	1	20	1	24	1	25	6	115
令和3年度	1	16	1	17	1	15	1	15	1	21	1	24	6	108
令和4年度	1	14	1	16	1	16	1	14	1	17	1	20	6	97
令和5年度	1	6	1	15	1	16	1	17	1	15	1	18	6	87
令和6年度	1	15	1	7	1	13	1	16	1	17	1	14	6	82
令和7年度	1	18	1	17	1	9	1	13	1	15	1	18	6	90
令和8年度	1	15	1	19	1	16	1	7	1	14	1	16	6	87
令和9年度	1	11	1	16	1	19	1	16	1	7	1	14	6	83
令和10年度	1	9	1	12	1	16	1	18	1	16	1	7	6	78
令和11年度	1	11	1	9	1	12	1	16	1	20	1	16	6	84
令和12年度	1	13	1	12	1	9	1	12	1	17	1	20	6	83
令和13年度	1	13	1	14	1	12	1	9	1	12	1	16	6	76
令和14年度	1	12	1	13	1	14	1	12	1	9	1	12	6	72
令和15年度	1	12	1	13	1	13	1	14	1	12	1	9	6	73
令和16年度	1	11	1	12	1	13	1	13	1	15	1	12	6	76
令和17年度	1	11	1	12	1	12	1	13	1	14	1	14	6	76
令和18年度	1	10	1	11	1	12	1	12	1	13	1	14	6	72

※学級数は普通級数を児童数は総児童数を表示している。

学級編制推移一覧

二州小学校

(各年5月1日現在)

学年 年度	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計	
	学級 級 数	児童 童 数												
平成13年度	1	40	2	42	1	34	1	38	2	47	2	47	9	248
平成14年度	1	38	1	37	2	42	1	34	2	51	2	47	9	249
平成15年度	1	34	1	36	1	36	1	40	2	48	2	50	8	244
平成16年度	1	30	1	32	1	37	1	35	2	59	2	49	8	242
平成17年度	1	35	1	31	1	31	1	37	2	49	2	58	8	241
平成18年度	1	30	1	34	1	33	1	31	2	47	2	51	8	226
平成19年度	1	32	1	30	1	34	1	32	2	48	2	49	8	225
平成20年度	1	33	1	33	1	33	1	35	2	41	2	48	8	223
平成21年度	1	26	1	32	1	35	1	33	2	53	2	42	8	221
平成22年度	1	26	1	26	1	35	1	35	2	53	2	53	8	228
平成23年度	1	27	1	27	1	25	1	35	2	47	2	52	8	213
平成24年度	1	28	1	27	1	25	1	26	2	42	2	46	8	194
平成25年度	1	24	1	27	1	28	1	25	2	42	2	42	8	188
平成26年度	1	24	1	25	1	27	1	29	1	35	2	41	7	181
平成27年度	1	18	1	24	1	27	1	28	1	39	1	35	6	171
平成28年度	1	15	1	18	1	24	1	29	1	35	1	39	6	160
平成29年度	1	21	1	15	1	19	1	25	1	32	1	35	6	147
平成30年度	1	15	1	20	1	15	1	18	1	35	1	32	6	135
令和1年度	1	13	1	15	1	19	1	15	1	27	1	35	6	124
令和2年度	1	7	1	14	1	15	1	19	1	21	1	27	6	103
令和3年度	1	15	1	7	1	15	1	15	1	23	1	22	6	97
令和4年度	1	17	1	15	1	7	1	16	1	21	1	24	6	100
令和5年度	1	17	1	19	1	15	1	7	1	21	1	22	6	101
令和6年度	1	17	1	17	1	19	1	15	1	13	1	21	6	102
令和7年度	1	10	1	16	1	17	1	19	1	20	1	14	6	96
令和8年度	1	8	1	10	1	17	1	17	1	19	1	27	6	98
令和9年度	1	6	1	10	1	10	1	17	1	21	1	26	6	90
令和10年度	1	10	1	7	1	10	1	10	1	22	1	27	6	86
令和11年度	1	10	1	11	1	7	1	10	1	20	1	29	6	87
令和12年度	1	4	1	12	1	12	1	7	1	20	1	24	6	79
令和13年度	1	10	1	5	1	12	1	12	1	13	1	24	6	76
令和14年度	1	10	1	12	1	5	1	13	1	18	1	15	6	73
令和15年度	1	10	1	12	1	12	1	5	1	16	1	22	6	77
令和16年度	1	9	1	11	1	12	1	13	1	9	1	21	6	75
令和17年度	1	9	1	11	1	11	1	12	1	17	1	11	6	71
令和18年度	1	8	1	10	1	11	1	12	1	16	1	22	6	79

※学級数は普通級数を児童数は総児童数を表示している。

学級編制推移一覧

二州小学校沖分校

(各年5月1日現在)

学年 年度	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計	
	学級 級 数	児童 童 数												
平成13年度	1	15	1	16	1	12	1	14					4	57
平成14年度	1	13	1	16	1	16	1	12					4	57
平成15年度	1	18	1	14	1	15	1	18					4	65
平成16年度	1	10	1	18	1	13	1	15					4	56
平成17年度	1	16	1	9	1	17	1	13					4	55
平成18年度	1	20	1	17	1	9	1	18					4	64
平成19年度	1	10	1	21	1	17	1	9					4	57
平成20年度	1	8	1	10	1	21	1	17					4	56
平成21年度	1	17	1	7	1	11	1	19					4	54
平成22年度	1	11	1	17	1	7	1	12					4	47
平成23年度	1	12	1	10	1	17	1	7					4	46
平成24年度	1	7	1	11	1	11	1	18					4	47
平成25年度	1	7	1	7	1	11	1	11					4	36
平成26年度	1	10	1	6	1	7	1	10					4	33
平成27年度	1	9	1	11	1	7	1	7					4	34
平成28年度	1	10	1	9	1	11	1	6					4	36
平成29年度	1	3	1	8	1	9	1	10					4	30
平成30年度	1	6	1	3	1	7	1	9					4	25
令和1年度	1	4	1	7	1	3	1	6					4	20
令和2年度	1	5	1	4	1	7	1	3					4	19
令和3年度	1	4	1	5	1	4	1	6					4	19
令和4年度		1	4	1	5	1	4						3	13
令和5年度	1	2			1	4	1	5					3	11
令和6年度	1	4	1	2			1	4					3	10
令和7年度		1	4	1	2								2	6
令和8年度	1	10	1		1	4	1	2					4	16
令和9年度	1	4	1	13	1		1	4					4	21
令和10年度	1	6	1	6	1	12	1						4	24
令和11年度	1	3	1	8	1	5	1	10					4	26
令和12年度	1	4	1	4	1	7	1	5					4	20
令和13年度	1	4	1	5	1	3	1	6					4	18
令和14年度	1	4	1	5	1	5	1	3					4	17
令和15年度	1	3	1	5	1	4	1	4					4	16
令和16年度	1	3	1	5	1	4	1	4					4	16
令和17年度	1	3	1	4	1	4	1	4					4	15
令和18年度	1	3	1	4	1	4	1	4					4	15

※学級数は普通級数を児童数は総児童数を表示している。

学級編制推移一覧

川上小学校

(各年5月1日現在)

学年 年度	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計	
	学級 数	児童 数												
平成13年度	3	111	3	111	3	117	4	139	4	124	4	132	21	734
平成14年度	3	104	3	113	3	111	4	121	4	142	4	126	21	717
平成15年度	3	95	3	108	3	120	3	110	4	121	4	145	20	699
平成16年度	3	84	3	97	3	110	4	123	3	112	4	120	20	646
平成17年度	3	73	3	84	3	99	3	110	4	125	3	114	19	605
平成18年度	2	63	3	75	3	79	3	97	3	108	4	121	18	543
平成19年度	3	73	2	65	3	74	3	82	3	99	3	109	17	502
平成20年度	2	59	3	71	2	64	2	71	3	80	3	98	15	443
平成21年度	2	54	2	59	2	70	2	63	2	74	3	80	13	400
平成22年度	2	52	2	56	2	57	2	72	2	60	2	74	12	371
平成23年度	2	50	2	52	2	56	2	57	2	73	2	58	12	346
平成24年度	2	47	2	54	2	52	2	58	2	54	2	74	12	339
平成25年度	2	61	2	48	2	53	2	51	2	58	2	53	12	324
平成26年度	2	46	2	59	2	48	2	51	2	55	2	59	12	318
平成27年度	2	44	2	45	2	58	2	49	2	49	2	54	12	299
平成28年度	2	41	2	44	2	47	2	53	2	51	2	49	12	285
平成29年度	1	34	2	41	2	45	2	47	2	52	2	52	11	271
平成30年度	1	33	1	33	2	40	2	45	2	48	2	51	10	250
令和1年度	1	27	1	33	1	33	2	39	2	46	2	49	9	227
令和2年度	1	29	1	27	1	34	1	32	1	37	2	43	7	202
令和3年度	1	23	1	28	1	28	1	34	1	32	2	39	7	184
令和4年度	1	22	1	22	1	29	1	27	1	34	1	31	6	165
令和5年度	1	13	1	23	1	23	1	28	1	28	1	34	6	149
令和6年度	1	18	1	15	1	22	1	21	1	27	1	28	6	131
令和7年度	1	18	1	18	1	13	1	23	1	22	1	30	6	124
令和8年度	1	19	1	20	1	18	1	18	1	15	1	21	6	111
令和9年度	1	21	1	20	1	20	1	18	1	18	1	15	6	112
令和10年度	1	12	1	22	1	20	1	20	1	18	1	18	6	110
令和11年度	1	22	1	12	1	23	1	21	1	19	1	18	6	115
令和12年度	1	17	1	23	1	12	1	23	1	20	1	19	6	114
令和13年度	1	16	1	18	1	23	1	13	1	22	1	20	6	112
令和14年度	1	15	1	17	1	18	1	23	1	12	1	22	6	107
令和15年度	1	15	1	16	1	17	1	18	1	23	1	12	6	101
令和16年度	1	14	1	16	1	17	1	18	1	18	1	23	6	106
令和17年度	1	14	1	15	1	16	1	17	1	17	1	18	6	97
令和18年度	1	13	1	14	1	15	1	16	1	16	1	17	6	91

※学級数は普通級数を児童数は総児童数を表示している。

取組事例Ⅰ（併設型小中一貫教育：長柄町）

Ⅰ. 取組の概要

- (1)長柄小学校・日吉小学校の2小学校を令和11年4月に統合
- (2)統合した小学校を長柄中学校敷地に設置し小中一貫教育を推進

2. 取組の基本的な考え方

- (1)こどもたちにとってより良い教育環境の構築と質の高い学校教育を実現する。
- (2)小学校の学校規模を複式学級が生じない規模とし、少なくとも1学年1学級以上の児童数を確保する。

年度	学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	合計
令和6年度	長柄小学校	18名	19名	13名	12名	21名	19名	102名	180名
	日吉小学校	13名	14名	13名	14名	13名	11名	78名	
令和12年度	長柄小学校	9名	9名	18名	16名	18名	5名	75名	132名
	日吉小学校	7名	5名	11名	10名	12名	12名	57名	

3. 意見の集約

- (1)小学校のあり方についてのアンケートを実施。

【対象者】

- ◇保護者（こども園、小学校）
- ◇民生委員
- ◇青少年相談員
- ◇自治会長
- ◇教職員（こども園、小学校、中学校）
- ◇児童・生徒（小学校5・6年生、中学校1・2年生）

【主な意見】

- ◇子どもの人数が年々減少し、学級の児童数が非常に少ない。
- ◇学校行事等は、児童数が多い方ができることの幅が広がり、選択肢が増える。
- ◇人数が多い方が、多様な人格と触れ合うことができ、競争心が芽生えるだけではなく、協調性が育まれる。友達関係が広がる。

- (2)住民・保護者説明会の実施（令和7年度～、5回（予定））

4. 特記事項

- ◇併設型小・中学校の形態をとることで、小学校と中学校の垣根を越えて9年間を通じた教育課程を編成し、学習指導や生徒指導の充実を図る。
- ◇統合後は、児童の通学距離に応じてスクールバスを運行し、登下校の利便性と安全性を両立する。
- ◇統合後の学校は、日々の学校教育活動や地域活動の施設であるだけでなく、災害時の避難施設や防災拠点としての機能を確保する。

取組事例2（義務教育学校：成田市）

1. 取組の概要

- (1) 下総地区の4つの小学校（滑河小学校、小御門小学校、名木小学校、高岡小学校）と1つの中学校（下総中学校）を平成26年4月に統合し、併設型小・中学校として開校
- (2) 平成29年度から義務教育学校へ移行し、「成田市立下総みどり学園」開校

2. 取組の基本的な考え方

- (1) 一学年複数学級が確保できる12～18学級の規模となるよう学校規模の適正化を図る。
- (2) 9年間を一体のものと捉え、発達段階を踏まえた一貫性の高い教育を行う。

学年編成	学習活動
前期（1～4年生）	自分と向き合う：学習や集団生活に必要な基礎・基本を身に付ける
中期（5～7年生）	他者と向き合う：自ら学ぶ習慣や良好な人間関係を築く力を身に付ける
後期（8～9年生）	将来や社会と向き合う：進路決定に向け、自律と自立に基づいた行動・言動を身に付ける

3. 意見の集約

- (1) 下総地区住民説明会を実施（平成20年7月、計2回）
- (2) 各小中学校保護者説明会を実施（平成20年7月、計8回）
- (3) 下総地区小中連携推進委員会を発足（平成23年7月）

4. 特記事項

- (1) 5,6年生では、ほとんどの教科で学級担任ではなく、教科担任による授業が行われている。
- (2) 学校統合後は、児童生徒の安全確保のため、前期課程の児童はスクールバスを利用して登下校している。
- (3) 学校統合、廃校となる学校の土地・建物については、地域での市民利用等、市民ニーズを踏まえて利活用している。
 - ◇ 旧滑河小学校は、文化財保存展示施設として整備し、また、体育館を地区運動施設として開放している。
 - ◇ 旧名木小学校は、主に自閉症などの知的障がいがある方を対象とした障害福祉サービス事業所として活用している。
 - ◇ 旧高岡小学校は、体育館及びグラウンドを地区運動施設として開放している。

取組事例3（小規模特認校：袖ヶ浦市）

1. 取組の概要

(1) 袖ヶ浦市立平岡小学校幽谷分校を小規模特認校に指定

【小規模特認校指定後の児童数の推移】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学区外児童	6名	7名	5名	5名	5名	1名
学区内児童	9名	10名	7名	6名	7名	2名
計	15名	17名	12名	11名	12名	3名

(2) 袖ヶ浦市立平岡小学校幽谷分校を袖ヶ浦市立平岡小学校本校に統合

2. 取組の基本的な考え方

(1) 主体的・対話的で深い学びの実現を担保する。

(2) 児童の増加を図り、複式学級の解消を目指す。

3. 意見の集約

(1) 学区内住民等の懇談会等を実施(平成29年～平成31年, 計5回)

(2) 在学児童の保護者の懇談会等を実施(平成29年～平成31年, 計5回)

(3) 未就学児の保護者を対象に意向調査を実施(計2回)

【主な意見】

◇少人数すぎる教育環境が不安。

◇分校の伸び伸びとした教育環境を望んでいる。

◇途中から(5年生から)本校に通わせる位なら初めから本校に通って友達を作ってほしい。

(4) 幽谷分校のあり方検討委員会の設置(平成30年～平成31年, 計4回)

4. 特記事項

◇児童の増加を図るため、小規模特認校制度を導入したが大幅な増加には至らなかった。

◇児童にとってどのような教育環境が望ましいかを争点として意見を集約した。

◇平成31年4月入学の児童が4学年修了時となる令和4年度末をもって統合することとした。

◇本校と分校を統合後、旧分校の修学区域はスクールバスを運行することとした。

◇本校と分校を統合後、旧分校については事業者へ貸付けることとしたが、引き続き避難所や投票所として利用できるよう覚書を締結した。